

野々市市行政改革大綱（第 6 次）の推進状況について

平成 30 年度の推進状況

平成 29 年に策定した野々市市行政改革大綱（第 6 次）は、平成 29 年度から令和 3 年度の 5 年間で推進期間とし、地域の「ヒト、モノ、カネ、情報」を最大限に活用し市民満足度の最大化を図ることを目的とする指針です。

野々市市行政改革大綱（第 6 次）に掲げる 20 の推進項目について、「行政の経営（歳出全般の効率化と財源配分の選択や重点化を図る）」の視点及び「公共の経営（市民協働の実践として、市民が担えることは市民が主体となって取り組む）」の視点から、それぞれ評価を行いました。

行政の経営は 20 項目全て、公共の経営は評価になじまないものを除いた 12 項目の計 32 項目について推進項目の評価を行った結果は以下のとおりです。

◎	○	×	■	合計
31 (96.9%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32

- ◎：当初の計画どおり進んでいる
- ：当初の計画から遅れている
- ×：未実施
- ：再検討

（１） 組織改革				（２） 業務改革				（３） 財政改革			
No.	推進項目	行政の 経営	公共の 経営	No.	推進項目	行政の 経営	公共の 経営	No.	推進項目	行政の 経営	公共の 経営
1	次代を担う人材の確保	◎	◎	9	広報活動の充実	◎	◎	17	収納方法の拡充と徴収体制の強化	◎	
2	適正な人員配置の実現	◎		10	オープンデータ活用の推進	◎	◎	18	自主財源の充実	◎	◎
3	戦略的な人材育成	○		11	広聴活動の充実	◎	◎	19	総合計画及び行政改革の評価・進捗管理	◎	◎
4	人事評価制度の充実	◎		12	事務事業の業務内容の見直し	◎	◎	20	財政指標の数値目標の設定	◎	
5	女性の活躍推進	◎	◎	13	公有地・施設の計画的管理・活用	◎	◎				
6	ワーク・ライフ・バランスの推進	◎	◎	14	ビックデータを活用したまちづくりの推進	◎	◎				
7	機能的な組織機構づくり	◎		15	マイナンバーの活用と総合窓口の検討	◎					
8	協働のネットワークづくり	◎	◎	16	石川中央都市圏での連携	◎					

32 の推進項目のうち、31 の推進項目については、「◎当初の計画どおり進んでいる」となりました。

「○ 当初の計画から遅れている」となった項目については、次のとおり取り組みます。

＜項目番号 3（行政の経営） 戦略的な人材育成＞

職員自身の能力と可能性を最大限に引き出せるよう、役職に応じて求められる能力や目的別の研修を体系化し、効果的な研修計画の策定に努めます。

そのため、他自治体の研修計画等を参考に情報収集を進め、本市の職員数や役職・年齢の構成を考慮した策定に努めます。